

教養コース ⑤ 社会保障学

—すべての人に社会保障のある暮らしを—

第4回

社会保障のない人たちもいる？

今後の社会保障のゆくえ

期日 令和3年7月17日（土）10:00～12:00

会場 鶴瀬公民館

講師: 濱畑芳和氏（立正大学社会福祉学部准教授）

参加者 24名

第4回目は、社会保障のない人たちもいる？今後の社会保障のゆくえ

1. 制度の谷間におかれた人びと

皆保険・皆年金なのに社会保障を「使える人」ばかりではない

制度があっても取り残されてしまう人びとに対してどう対応するべきか



講師 濱畑芳和氏

2. 家族単位から個人単位へ？

制度ができた当初から社会保障は家族単位

家族構成・社会構造の変化についていけない

- ① 家族と認定されない人（LGBTQ 性的少数者）
- ② 家族を構成できない人（「おひとりさま」）

3. 今後の社会保障、どうしたら良い？

「改革」は行われてきているが 財源確保が最優先、保障水準の問題は二の次
根本的な「少子高齢化」「人口減少」対策には言及なし

- ① 給付対象の縮小（風邪や花粉症等の健康保険外しの検討）

② 負担の強化（保険料・自己負担の引き上げ＝給付水準の引き下げ）

③ 年金の適用対象の拡大（パート労働者への適用）

④ 少子化対策は従来の施策の延長にとどまる（婚活支援、不妊治療の健康保険適用、イクメン）

では、どうしたら良いでしょうか？

報告者 三上 聡雄